

矢作小学校6年2組

小田原をより良くするために

今の小田原はそんなに事件が起こっているイメージがないので、店などのしせつをもっと良くしたり、増やしたりした方が良いと思います。ほくの家からは、近場の店などが、コンビニしかないの、特に、病院などを増やした方が良いと思います。

小田原に大きな公園を！

私は、大きな公園がたくさんあってほしいと思いました。理由は、小田原には大きな公園がぜんぜんないから、遊んでもあまり楽しくないので大きい公園を作ってほしいと思いました。みんなが楽しめる市にしてほしいです。

大都会のような

大都会のようなおしゃれな小田原になってほしいです。今の小田原は、地味なところが多く、目立ちにくい部分があるので、もっと派手にして、目立たせてほしいなと思います。そして、おしゃれできれいな小田原になってほしいです。

小田原の海を守るために

「ドボン」と海にプラスチックや生ゴミがすてられています。最近では年間何百tものゴミがすてられ、マイクロプラスチックがどんどん増えてきています。そのため生き物に害をあたえているので、リサイクルを大切にしていきたいです。

2030年の小田原の姿

2030年の小田原。小田原駅や小田原城の中はロボットが案内していて、あちこちにいる。電車はリアモーターカーになった。車は自動運転の車が増えて、はい気ガスも少なくなった。でも、もっと自然がほしいな。

自動製品ときれい

私は、2030年の小田原市の姿は自動製品の物が今よりも多くなっていると思います。でも、自動製品じゃない物もあると思う。それから、2030年の小田原市は今よりもっと外がきれいになっていると思うし良い小田原になって。

自然の町小田原

「ワサワサワサ」と風がふくと、木が音楽をかなでるような木の多さ。昆虫や動物がすみやすいような森。いまよりきれいなさかわ川。魚がたくさんいるといい。海のゴミも取りのぞき魚やみんながおよげるようにしたい。自然の町小田原

かまぼこの街

2030年、小田原はかまぼこが大量生産されているとぼくは思います。その理由はかまぼこは世界的に注目され、その健康効果はおいしさが認められ、世界に広まっていて、さらに貧しい人に、かまぼこを寄付するという事も起きていると思います。

緑いっぱい小田原市

「ザー」木がいっぱい鳴いている小田原市。ぼくはそんな小田原になってほしいと思いました。そう思ったきっかけは最近自然の音が聞こえなくなったからです。小田原が、自然の音でいっぱいになってほしいです。

印刷技術

昔からナゾが多かったじゅく。その塾の新規入会受付中！という文字を一枚一枚はらずに、新規入会受付中！のように出来れば、紙のムダにならなくていいなと思います。まあ、どこも補助金出さないだろうけど。

こんな車があったら

ぼくは約10年後全自動の車ができてほしいです。なぜかと言うと車の中でテレビを見たりおいしいご飯を食べたりしたいからです。どこか遠い所に行くまでの間に車の中で何か楽しい時間を作れる車がほしいです。

自然のあふれる小田原市

「ざわざわざわ」風がふくたびに森林がゆれて音が鳴りひびく。そんな自然に囲まれた小田原。きっと虫や動物もあふれていてだれもがこちよく過ごせる。お花で色とりどりなきれいな草原。そんな小田原に私はしたい。

事故

「キー」どうろでの事故がニュースなどでよく目にします。しんごうのない、おうだんはどうは、危ないと、思うので、しんごうのない、おうだんはどうに、しんごうをつけて、ほしいです。そうしたら、事故の数もへると、思います。

みんなが集まる広場

私はみんなが集まってくるような広場ができてほしいです。そこには季節のお花や植物をたくさん植えて自然を感じられるはなやかな場所になってほしいです。そして、その場所で人との関わりが増えたらいいと思います。

笑顔あふれる公園

9年後の小田原市に自然がきれいな公園があったらいいな。海がきれいにできてカラフルな花が植えてある公園が出来たらいいな。春にはお花見が出来て秋にはもみじがりが出来て…そんな公園で家族みんなで笑顔になりたいな。

ぼくが想像する未来

ぼくは、9年後の小田原市の未来がこんなふうになってほしいな。食べもの屋さんでロボットがあったらな。あと、自動運転の自転車があったらな。アニメ、まんが、絵本の中にはいれる道具があったらな。

未来の小田原市

みんなで小田原の良さを、色々な国や地域の人に伝えていって、今よりもずっと笑顔あふれる町になっているかもしれない。たくさん人達が支え合い、助け合うそんなきれいな町に小田原を、2030年の小田原の姿にしていきたい。

9年後の小田原

ぼくは、9年でそんなに変わらないと思いました。理由は、10年以上生きてるけど、そんなに変わったことがないからです。でも、30年後位には、機械がいろいろ発展して今よりも便利になってると思います。

矢作小学校6年2組

2030年になってほしいこと

ぼくは、9年後の小田原の、事故を、なくせればいいなと思った。自動運転のきのうが、あれば、事故がへるので、いいと思った。これからも、小田原を、おうえんしているのががんばってほしい。みんなが安んずける、町にしてほしい。

住みやすい小田原

9年後の小田原は、しせつを全てユニバーサルデザインにしたいです。住みやすくすれば小田原がもっとにぎやかになるし障害者の方でもいろんなお店に行きやすくなると思います。だれでも楽しく暮らせる小田原にしたいです。

未来はどんな？

2030年の小田原は、コロナがなくなってマスクをはずして、自然の空気を吸いながら、お出かけできる未来がいいな！！そしてお出かけする時は、空飛ぶ車で風景を楽しみながら、レッツゴー！！

私の思い

ポイ捨てゼロでゴミ一つないきれいな川、海、地面。おいしい食べ物がたくさん売っているお店の、商店街。こんなことができ、世界のいろいろな所から観光客がたくさん来て、にぎやかになっている。

道を走る車がめずらしい。

わあ！今車が道を走っていた。今の時代、空を飛ばない車はめずらしい。最近は海も走るようになってきたのだから。小田原の海でその実験をしたたけ。たしか、海の水を使って走るエコカー。便利だし、環境にもやさしく人気が高いらしい。

空飛ぶ自転車

ぼくは9年度の小田原市に空飛ぶ自転車があったらいいなと思っています。理由は、友だちの家に行くときに坂などをのぼるときにつかれてしまうけれど、空飛ぶ自転車だったら、坂ものぼらなくてすむし、景色もきれいに見えると思うからです。

2030年の小田原

自分は今の9年後は犯罪のない豊かなくらしができる小田原になってほしいです。理由は、犯罪がない小田原になったら外国人観光客やほかの県からいっぱい人がきて、小田原は人があふれるぐらいの市にしてほしいからです。

環境によい、きれいな小田原

「そよそよ」と、ここのよい風があたってくる。小川のせせらぎや川の中にいる生き物も元気に動き回っている。あたりを見回してみるとゴミは何一つ落ちていない。このようなきれいな環境、住みやすい小田原にしていきたいです。

にぎやかな小田原

ワイワイガヤガヤ。ぼくは、9年後の小田原がにぎやかな町になっていて自然も大切にしている町になってほしい。そしてみんなが楽しく暮らせるようになってほしい。

できたらいいなこんなこと

私が思う小田原にあったらいいなと思うものは、空を飛ぶ車です。理由は、空を飛んでいたら、歩行者といっしょの場所を通らずに運転できるからです。歩行者といっしょではないので、車でひいてしまう事故がへると思いました。